

平成30年度総合戦略事業評価シート

【担当課：産業振興課】

基本目標	1	産業を活性化し、働く場を創る		当初予算	2,000,000 円				
施策の基本的方向	3	特産品の開発・育成による経済活性化・働く場の創出		執行済額	1,063,800 円				
事業名	2	町土産品の開発支援		執行交付金	531,900 円				
事業概要	大多喜城やおたつき一、本多忠勝、忠朝、ユネスコ等の観光資源を題材とした町の土産品の開発。								
事業の取組み (経費内訳)	「千葉県イノシシ肉に係る衛生管理ガイドライン」に沿った安全性の高い獣肉供給体制の整備のため金属検出器を導入。 都市農村交流施設 金属検出器購入 1,063,800円(税込み)								
	重要業績評価指標		目標値	単位	H28	H29	H30	H31	H32
施策評価	①	土産品の開発	3品	品			2		
			達成状況				〇		
施策評価	②								
			達成状況						
事業効果	③ 本事業は 地方創生に効果があった。	① 本事業は地方創生に非常に効果的であった。			※ 指標が目標値を上回ったなどの場合				
		② 本事業は地方創生に相当程度効果があった。			※ 目標値を上回ることにはなかったものの目標値を相当程度(7割～8割)達成したなどの場合				
		③ 本事業は地方創生に効果があった。			※ 目標値を上回ることにはなかったものの事業開始前よりも改善した場合				
		④ 本事業は地方創生に対して効果がなかった。			※ 実績値が本事業開始前の数値よりも悪化しているなどの場合				
課題	獣肉の流通促進の課題として、解体処理従事者の育成、安心安全なジビエ食材の普及啓発があげられ、都市交流センター指定管理者との連携による従事者育成研修のほか、千葉県での「房総ジビエフェア」や料理講習会なども活用しながら継続的なPR活動が求められる。								
事業実績・今後の予定	機器の導入運用：H31.1月～ H30開発商品：山賊おかき、猪バーガー 今後の予定：千葉県「房総ジビエフェア」等とのPR連携、都市交流センター指定管理者たけゆらの里大多喜との商品開発連携								

■事業の評価

事業の評価	① 本事業が 地方版総合戦略のKPI達成に有効であった。	① 本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった。 ② 本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった。 コメント： 獣肉販売額及び処理頭数へすぐに効果が表れにくい、安心安全な食材供給の根幹を成す設備整備により今後の対外的なPRに有効である。
	※1「有効であった」⇒良かった点、評価する点等について記載してください。 ※2「有効とは言えなかった」⇒良くなかった点、何が原因であったか等、改善策について記載してください。	

▼推進会議の評価を受けての今後の方針

今後の方針	③ 特に見直しをせず事業を継続する。	① 事業が効果的であったことから取組みの追加等更に発展させる。 ② 事業内容の見直し(改善)を行う。(または、行った。) ③ 特に見直しをせず事業を継続する。 ④ 継続的な事業実施を予定していたが中止した。 ⑤ 当初予定通り事業を終了した。
今後の方針の理由	ジビエ食材の積極的な活用や普及啓発を行っていくためには、安心安全かつ安定的に食材供給がされることが重要であるため、引き続き必要な設備を整備していく。	